

# 大学生における自己理想と他者に対する 魅力及びやせ志向の実態

Idealized Figures, What is Attractive to Others, and the Desire  
to Lose Weight among University Undergraduate Students

佐野 祐子<sup>1)</sup>, 高田谷久美子<sup>2)</sup>, 近藤 洋子<sup>3)</sup>  
SANO Yuko, TAKATAYA Kumiko, KONDO Youko

## 要 旨

自己の理想は他者からの評価に影響されるのではないかと考え、自己理想と同性・異性の他者に感じる魅力(同性魅力・異性魅力)の相違、自己の理想体型と体型認識別とにみた自己理想の特徴について検討した。

大学生 328 名を対象に、BMI(身長・体重から算出)と体型評価、自己理想、同性魅力、異性魅力について 2008 年 10 月～11 月に自記式のアンケート調査を実施した。有効回答数は 185 名(男子 68 名, 女子 117 名)であった。

「信頼できる」、「友達を大切に」、「話しやすい」、「思いやりがある」は男女ともに自己理想、同性・異性他者の魅力のいずれの場合も得点が高かった。一方、異性魅力では男性:「清潔」、「おしゃれ」、「容姿がよい」、女性:「リーダーシップがとれる」、「男らしい」、「スポーツができる」、「頭がよい」、「お金持ち」と異なっていた。なお、BMI と自己体型評価が一致しない「やせ志向」は男性 26.9%、女性 72.2%と女性の方が多かった( $p < 0.001$ )。

キーワード 大学生、やせ志向、魅力、他者

Key Words Undergraduates, Slenderness, Charm, Other Person

## 1. はじめに

近年、若年女性において、BMI が 18.5 未満のやせの範囲である女性が増加してきており、平成 14 年の 20 代女性で 26.0%と 20 年前(11.4%)の約 2 倍近い値となっている<sup>1)</sup>。その後も 20 代女性の「やせ」の割合は横ばい状態を続けており、平成 19 年では 23.1%であった<sup>2)</sup>。また、女性では、現実の体型が「ふつう」であるにも関わらず、「太っている」と自己評価したり、「やせ」であるのに「ふつう」と不適切な自己評価をしている者が多く、意識と現実との乖離が目立っている。

これらの現象の原因としては、やせていることが美しい・理想とされる現代社会の風潮や、マスメディアからのダイエットに関する情報の氾濫による「やせに対する肯定的な価値観」の形成が関係していると考えられる<sup>3)</sup>。このような風潮は、人々の潜在意識の中にやせていることが「良い」という評価を植えつけていることが考えられる。

また、「他者に注目、喝采されたい」と他者から肯定的な評価を引き出そうとする「賞賛獲得欲求」や、他者から自分の体型について太っていると指摘されたり、やせるように言われたりする「体型に関する指摘」など、やせ志向が他者からの評価や他者との関係に関連することが示唆されている<sup>4)</sup>。

前川(2005)<sup>5)</sup>は女子学生を対象に、青年期女子の体重・体型へのこだわりに影響を及ぼす要因として、親の養育行動と社会的要因からの調査・検討を行っている。この中で、自分もやせたい、やせることが理想と考える「やせ願望」につながるのは、やせている人がうらやましい等の「やせに対する価値観」や「メディアの影響」「友人のやせ志向」であったと報告している。

一方、金本ら(1999)<sup>6)</sup>の調査では、女性についても男性についても自己の理想体型と異性から理想とされている

受理日: 2010 年 11 月 4 日

1) 藤田保健衛生大学病院看護部: Fujita Health University Hospital

2) 山梨大学大学院医学工学総合研究部(母子保健): Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering (Maternal and Child Health), University of Yamanashi

3) 玉川大学文学部: College of Humanities, Tamagawa University

体型がやせ体型であり、一致したと述べている。このことは男女ともに社会的にやせの体型が理想とされていることを示している。つまり、男性、女性に関わらず、理想体型は自己のみでなく、同性異性の他者にも望むものと考えられる。しかし、国民栄養調査の結果では、理想の体型ではないが、自己が太っているか否かの判断基準は、男性では自己となっており、男性では同性に対する評価と異性に対する評価が異なっているとも考えられる。

人は自己評価をする際他者に影響されるのか、本研究では、自己の理想は他者の評価を意識しており、そのことは自己が他者に感じる魅力と関連してくるのではないかと考え、自己の理想と自己が同性他者や異性他者に感じる魅力の相違、自己の理想体型別にみた自己理想の特徴、及び自己の理想体型とやせ志向との関係を検討することを目的としている。

## II. 研究方法

### 1. 用語の操作的定義

やせ志向：やせ志向は自己の体重を減少させたり、体型をスリム化しようとする欲求とする。

魅力：魅力は、他者を好ましく思い、引きつけられることとする。

### 2. 研究対象

Y大学医学部123名、教育人間科学部20名、工学部40名、及びT大学文学部145名である。授業終了後に研究者自身あるいは授業担当教員が、研究の趣旨、及び研究への参加は自由意志であり強制ではないこと、研究目的以外にデータを使用しないことを説明し、また、紙面にて同様のことを説明した後、自記式質問紙調査を配布、実施した。

### 3. 調査時期

2008年10月～11月

### 4. 質問項目

#### 1) 自己の体型について

自己の身長・体重の記述からBMI(Body Mass Index)を算出し、体型のバランスについて把握した。BMI値をもとに、BMI 18.5 kg/m<sup>2</sup>未満をやせ、18.5～25 kg/m<sup>2</sup>未満を普通、25 kg/m<sup>2</sup>以上を肥満と分類した。また、自由記述により自己の体型評価を求めた。

次に、BMIと自己の体型評価との一致状況をみた(以下「体型認識」)。両者が一致している者を「BMI一致」、BMI値の方が低値である者は自身の体型をスリム化したいという欲求があると捉え「やせ志向」、逆にBMI値の方が高値である者を「太り志向」とした。

#### 2) 自己に対する認識と他者に対する意識

自身が理想に思う自己像(以下「自己理想」とする)、及び同性の他者・異性の他者に感じる魅力(以下順に、「同性魅力」「異性魅力」とする)の3つについて検討した。使用した項目は、豊田(2000)<sup>7)</sup>の調査で、「女性から好かれる男性」「女性から好かれる女性」「男性から好かれる男性」「男性から好かれる女性」の特徴を自由記述により検討し、同性異性に好かれる特性として自由記述された中で出現頻度が高かった24項目である。さらに豊田<sup>8)</sup>は、これら24項目を使って6段階で評定し、それぞれが同性から好かれる特性、異性から好かれる特性を明らかにした。本研究では、中間回答をおき、あてはまらない(1点)、ややあてはまらない(2点)、どちらでもない(3点)、ややあてはまる(4点)、あてはまる(5点)の5段階で回答を求めた。

#### 3) 理想とする体型・体格について

自己、同性他者、異性他者別に理想とする体型・体格について、根本ら<sup>9)</sup>の調査を参考に「身長が高いと思われたい」(以下「身長が高い」)、「身長が低いと思われたい」(以下「身長が低い」)、「体型が普通であると思われたい」(以下「体型普通」)、「筋肉質であると思われたい」(以下「筋肉質」)、「華奢であると思われたい」(以下「華奢」)、「ぽっちゃりしていると思われたい」(以下「ぽっちゃり」)の6項目を作成した。

### 5. 分析方法

得られたデータの解析には、統計ソフトSPSS 11.5J for Windowsを用いて、①各変数の基本統計、②「自己理想」「同性魅力」「異性魅力」についての男女差についてはMann-Whitney検定、③男女別の「自己理想」「同性魅力」「異性魅力」の違い、及び体型認識別の「自己理想」をKruskal Wallis検定、④体型認識別及び性別による自己の理想体型の違いについて、自己理想体型の6項目ごとにカイ2乗検定を行った。

### 6. 倫理的配慮

研究参加・協力者には、研究者自身が口頭で研究の主旨を伝え、参加は自由意志であり強制ではないこと、目的以外にデータを使用しないことを説明した。また研究への同意については、回答された質問紙が回収できた時点でこの研究に同意したものとみなした。

## III. 結果

質問用紙を回収できたのはY大学の医学部123名(男性8名、女性115名)、教育人間科学部の男性8名、工学部男性20名の合計151名(回収率82.5%)、T大学文学部の132名(男性40名、女性92名)(回収率91%)で、

表1 性別による「自己理想」「同性魅力」「異性魅力」の相違

	自己理想			同性魅力			異性魅力		
	男性	女性	p 値	男性	女性	p 値	男性	女性	p 値
信頼できる	4.59±0.53 (5.00)	4.62±0.61 (5.00)	0.428	4.53±0.72 (5.00)	4.64±0.64 (5.00)	0.380	4.46±0.84 (5.00)	4.57±0.73 (5.00)	0.435
友達を大切にする	4.75±0.53 (5.00)	4.87±0.36 (5.00)	0.102	4.49±0.82 (5.00)	4.65±0.56 (5.00)	0.289	4.44±0.76 (5.00)	4.50±0.74 (5.00)	0.586
話しやすい	4.38±0.73 (5.00)	4.59±0.70 (5.00)	0.023	4.53±0.80 (5.00)	4.62±0.60 (5.00)	0.833	4.43±0.83 (5.00)	4.53±0.76 (5.00)	0.472
おもしろい	4.10±0.90 (4.00)	3.97±0.97 (4.00)	0.447	4.24±0.98 (5.00)	4.38±0.80 (5.00)	0.533	3.91±1.05 (4.00)	4.39±0.73 (5.00)	0.002
つきあいがよい	4.16±0.82 (4.00)	4.03±0.92 (4.00)	0.403	4.26±0.82 (4.50)	4.14±0.92 (4.00)	0.427	4.12±0.97 (4.00)	4.16±0.84 (4.00)	0.950
気さくである	3.97±1.05 (4.00)	4.24±0.78 (4.00)	0.130	4.12±1.00 (4.00)	4.32±0.83 (5.00)	0.188	4.03±1.09 (4.00)	4.31±0.78 (4.00)	0.146
明るい	3.94±0.91 (4.00)	4.34±0.78 (5.00)	0.003	4.22±0.93 (4.50)	4.32±0.82 (5.00)	0.609	4.18±0.93 (4.00)	4.31±0.75 (4.00)	0.521
話がうまい	3.82±1.08 (4.00)	3.98±0.92 (4.00)	0.439	4.04±1.00 (4.00)	3.95±0.97 (4.00)	0.451	3.84±1.02 (4.00)	4.02±0.90 (4.00)	0.277
性格に表裏がない	3.56±1.24 (3.00)	4.18±0.92 (4.00)	0.001	4.07±1.12 (4.00)	4.23±1.08 (5.00)	0.258	4.06±1.18 (5.00)	4.22±0.90 (4.00)	0.729
正直である	4.06±0.98 (4.00)	4.27±0.83 (4.00)	0.187	4.09±1.02 (4.00)	4.24±0.93 (4.00)	0.297	4.34±0.84 (5.00)	4.24±0.92 (4.00)	0.498
思いやりがある	4.29±0.92 (5.00)	4.49±0.70 (5.00)	0.246	4.32±0.82 (5.00)	4.51±0.70 (5.00)	0.131	4.54±0.63 (5.00)	4.47±0.78 (5.00)	0.624
しっかりしている	3.85±1.12 (4.00)	4.15±0.89 (4.00)	0.113	4.15±0.92 (4.00)	4.27±0.81 (4.00)	0.478	4.10±0.92 (4.00)	4.38±0.82 (5.00)	0.032
気配りができる	4.16±0.82 (4.00)	4.25±0.89 (4.00)	0.356	4.12±0.92 (4.00)	4.37±0.75 (5.00)	0.086	4.25±0.92 (4.50)	4.30±0.83 (5.00)	0.864
聞き上手	4.13±0.93 (4.00)	4.30±0.75 (4.00)	0.353	4.06±1.01 (4.00)	4.25±0.80 (4.00)	0.331	3.99±1.00 (4.00)	4.21±0.91 (4.00)	0.138
やさしい	4.22±0.93 (5.00)	4.23±0.83 (4.00)	0.850	4.19±0.95 (4.50)	4.44±0.70 (5.00)	0.145	4.51±0.63 (5.00)	4.50±0.77 (5.00)	0.765
リーダーシップがとれる	3.34±1.14 (3.00)	3.38±1.06 (3.00)	0.656	3.82±1.04 (4.00)	3.69±1.01 (4.00)	0.353	3.43±1.18 (3.00)	3.90±1.02 (4.00)	0.005
清潔	4.21±0.87 (4.00)	4.38±0.76 (5.00)	0.189	4.06±0.90 (4.00)	4.33±0.73 (4.00)	0.047	4.47±0.72 (5.00)	4.27±0.81 (4.00)	0.091
女らしい(男らしい)	3.76±1.05 (4.00)	3.61±1.03 (3.00)	0.302	3.68±1.15 (4.00)	3.53±1.06 (3.00)	0.333	4.04±1.04 (4.00)	4.12±0.99 (4.00)	0.656
おしゃれ	3.56±1.26 (4.00)	3.85±0.95 (4.00)	0.197	3.49±1.13 (3.00)	3.83±0.96 (4.00)	0.030	3.94±1.03 (4.00)	3.62±0.98 (4.00)	0.017
スポーツができる	3.85±1.04 (4.00)	3.26±1.22 (3.00)	0.001	3.46±1.10 (3.00)	3.27±1.10 (3.00)	0.373	3.25±1.20 (3.00)	4.22±0.90 (4.00)	0.000
頭がよい	3.66±1.06 (3.50)	3.55±1.07 (4.00)	0.576	3.66±1.07 (4.00)	3.53±1.00 (4.00)	0.382	3.59±1.11 (3.00)	3.92±0.95 (4.00)	0.040
容姿がよい	3.56±1.12 (3.00)	3.75±0.97 (4.00)	0.272	3.46±1.08 (3.00)	3.51±1.08 (4.00)	0.688	4.00±0.85 (4.00)	3.78±1.00 (4.00)	0.185
積極的である	3.44±1.11 (3.00)	3.53±0.93 (3.00)	0.783	3.57±1.00 (3.00)	3.72±0.89 (3.00)	0.320	3.50±1.09 (3.00)	3.73±0.89 (4.00)	0.149
お金持ち	2.88±1.10 (3.00)	2.74±1.05 (3.00)	0.456	2.94±1.20 (3.00)	2.51±1.02 (3.00)	0.015	2.72±0.97 (3.00)	2.94±1.08 (3.00)	0.164

注1) 上段：平均値±標準偏差，下段：( )内中央値

注2) Mann-Whitney 検定による

2 大学での合計は 283 名(86.3%)であった。そのうち、回答に不備のあった者を除いた有効回答数は 185 名(男性 68 名，女性 117 名)となった。学部別では男女の割合が均等ではないため，学部間では性差による影響があると予想されるため，本研究では，学部間比較は行わなかった。

対象の平均年齢は 19.8 ± 1.1 歳であった。男女別では，

男性：20.3 ± 1.2 歳，女性：19.6 ± 0.9 歳となり，有意差がみられた(p < 0.0001)。

### 1. 自己の体型について

回答者自身の身長・体重から算出した BMI の平均値は 20.3 ± 2.1 kg/m<sup>2</sup>であった。男女別では，男性が 20.9

表2 性別による「自己理想」, 「同性魅力」, 「異性魅力」の相違

男性	自己理想	同性魅力	異性魅力	p 値	女性	自己理想	同性魅力	異性魅力	p 値
友達を大切にする	4.75±0.53 (5.00)	4.49±0.82 (5.00)	4.44±0.76 (5.00)	0.022	友達を大切にする	4.87±0.36 (5.00)	4.65±0.56 (5.00)	4.50±0.74 (5.00)	0.000
性格に表裏がない	3.56±1.24 (3.00)	4.07±1.12 (4.00)	4.06±1.18 (5.00)	0.012	おもしろい	3.97±0.97 (4.00)	4.38±0.80 (5.00)	4.39±0.73 (5.00)	0.001
リーダーシップがとれる	3.34±1.14 (3.00)	3.82±1.04 (4.00)	3.43±1.18 (3.00)	0.026	やさしい	4.23±0.83 (4.00)	4.44±0.70 (5.00)	4.50±0.77 (5.00)	0.019
清潔	4.21±0.87 (4.00)	4.06±0.90 (4.00)	4.47±0.72 (5.00)	0.017	リーダーシップがとれる	3.38±1.06 (3.00)	3.69±1.01 (4.00)	3.90±1.02 (4.00)	0.001
おしゃれ	3.56±1.26 (4.00)	3.49±1.13 (3.00)	3.94±1.03 (4.00)	0.035	女らしい(男らしい)	3.61±1.03 (3.00)	3.53±1.06 (3.00)	4.12±0.99 (4.00)	0.000
スポーツができる	3.85±1.04 (4.00)	3.46±1.10 (3.00)	3.25±1.20 (3.00)	0.008	スポーツができる	3.26±1.22 (3.00)	3.27±1.10 (3.00)	4.22±0.90 (4.00)	0.000
容姿がよい	3.56±1.12 (3.00)	3.46±1.08 (3.00)	4.00±0.85 (4.00)	0.009	頭がよい	3.55±1.07 (4.00)	3.53±1.00 (4.00)	3.92±0.95 (4.00)	0.005
					お金持ち	2.74±1.05 (3.00)	2.51±1.02 (3.00)	2.94±1.08 (3.00)	0.007

注1) 上段: 平均値±標準偏差, 下段: ( ) 内中央値

注2) Kruskal Wallis 検定による

± 2.6 kg/m<sup>2</sup>, 女性が 19.9 ± 1.7 kg/m<sup>2</sup> と有意差がみられた ( $p < 0.01$ )。また分類では, 「やせ」が 35 名 (18.9%), 「普通」145 名 (78.4%), 「肥満」5 名 (2.7%) であった。男女別では, 男性で「やせ」10 名 (14.7%), 「普通」54 名 (79.4%), 「肥満」4 名 (5.9%), 女性で「やせ」25 名 (21.4%), 「普通」91 名 (77.8%), 「肥満」1 名 (0.9%) であり, 男女差はみられなかった。

次に, 自己の体型評価と BMI との関連をみた体型認識は, 分類が難しかった 18 名を除くと, 「BMI 一致」60 名 (35.9%), 「太り志向」10 名 (6.0%), 「やせ志向」97 名 (58.1%) であった。男女別では, 男性 52 名中「BMI 一致」30 名 (57.7%), 「太り志向」8 名 (15.4%), 「やせ志向」14 名 (26.9%), 女性 115 名中「BMI 一致」30 名 (26.1%), 「太り志向」2 名 (1.7%), 「やせ志向」83 名 (72.2%) と女性の方が「やせ志向」が多かった ( $p < 0.0001$ )。

## 2. 自己理想, 同性魅力, 異性魅力

「自己理想」「同性魅力」「異性魅力」の全てにおいて評定の中央値が男女ともに 5 点であった項目は, 「信頼できる」「友達を大切にする」「話しやすい」「思いやりがある」であった。男性と女性で差のみられた項目のうち, 女性の方がより重視していた項目は, 「話しやすい」「性格に表裏がない」(自己理想), 「清潔」「おしゃれ」(同性魅力), 「おもしろい」「しっかりしている」「リーダーシップがとれる」「スポーツができる」「頭がよい」(異性魅力) であった。逆に男性の方が重視していた項目は, 「スポーツができる」(自己理想), 「お金持ち」(同性魅力), 「おしゃれ」(異性魅力) であった。

次に, 男女別に「自己理想」, 「同性魅力」, 「異性魅力」

の 3 者の評定に差があるか否かを検討し, 有意差のみられた項目を表 2 に示した。男女とも, 「友達を大切にする」は「自己理想」で最も重視していた。その他, 「スポーツができる」は男性の「自己理想」, 女性では「異性魅力」で最も重視している項目となっているなど, 男女で「同性魅力」, 「異性魅力」で最も重視する項目が異なっていた。

## 3. 性別及び体型認識別にみた自己が理想とする体型

自己の理想である「身長が高い」「身長が低い」「体型普通」「筋肉質」「華奢」「ぼっちゃり」の 6 項目について性別による違いがみられたのは, 「筋肉質」「身長が高い」「華奢」であった(表 3)。男性の方がそう思われたい者が多かったのは「筋肉質」と「身長が高い」, 女性では「華奢」であった。体系認識別では「筋肉質」「華奢」に違いがみられ, 「太り志向」では「筋肉質」, 「やせ志向」では「華奢」と思われたい者が多かった(表 4)。

## 4. 自己理想体型及び体型認識別にみた自己理想

自己理想体型で男女で違いのみられた項目のうち, 男性に当てはまる者が多くかつ男女差が顕著であった「筋肉質と思われたい」, 及び女性に当てはまる者が多かった「華奢に思われたい」について「自己理想」の相違をみた結果を表 5 に示した。

また, 「体型認識」により「自己理想」に違いがあるかみたら, 差がみられたのは「信頼できる」「やさしい」( $p < 0.05$ ), 「性格に表裏がない」「スポーツができる」( $p < 0.01$ ) であった。

表3 性別と理想体型

	男性		女性		χ <sup>2</sup> 検定
	n	%	n	%	
筋肉質と思われたい					
当てはまらない	13	19.1%	74	63.8%	p<0.0001
どちらでもない	28	41.2%	33	28.4%	
当てはまる	27	39.7%	9	7.8%	
身長が高いと思われたい					
当てはまらない	12	17.6%	50	42.7%	p=0.002
どちらでもない	33	48.5%	42	35.9%	
当てはまる	23	33.8%	25	21.4%	
華奢に思われたい					
当てはまらない	22	32.4%	31	26.5%	p=0.002
どちらでもない	33	48.5%	35	29.9%	
当てはまる	13	19.1%	51	43.6%	

注) 「当てはまらない」には「当てはまらない」「やや当てはまらない」、「当てはまる」には「当てはまる」「やや当てはまる」が含まれる

表4 体型認識(太り志向・BMI一致・やせ志向)と理想体型

	太り志向		BMI一致		やせ志向		χ <sup>2</sup> 検定
	n	%	n	%	n	%	
筋肉質と思われたい							
当てはまらない	2	20.0%	25	47.6%	57	52.9%	p=0.001
どちらでもない	2	20.0%	24	33.8%	27	32.4%	
当てはまる	6	60.0%	11	18.6%	12	14.7%	
華奢と思われたい							
当てはまらない	9	90.0%	18	30.0%	23	23.7%	p<0.0001
どちらでもない	1	10.0%	30	50.0%	27	27.8%	
当てはまる	0	0.0%	12	20.0%	47	48.5%	

注) 「当てはまらない」には「当てはまらない」「やや当てはまらない」、「当てはまる」には「当てはまる」「やや当てはまる」が含まれる

#### IV. 考察

若年女性の間では、BMIが18～24のふつうの範囲内を示しているにも関わらずやせ志向を持つ者が多い。また、低体重(やせ)であっても約4割が体重を減らそうとしていることも報告されている<sup>1)</sup>。本研究においても、BMIの平均値は男性20.9±2.6に対し、女性19.9±1.7と女性の方が有意に低く、BMIと自己の体型評価との関連においても、自己評価よりも実際のBMI値の方が低値を示す者の割合が男性26.9%に比し、女性72.2%と女性の方がはるかに多かった。

しかし、18.5以下の「やせ」に該当する者の割合は男女で有意な差とはなっていない。平成19年の国民健康・栄養調査<sup>2)</sup>と比較すると、20歳代の「やせ」の割合は女性の25.2% (今回21.4%)、男性の10.6% (今回14.7%)と、今回の結果の方が女性の割合は少なく、また男性では多い傾向がみられた。池田<sup>10)</sup>は小学5～6年生及び中学1～3年の男子691名を対象とした調査で、「やせたい」と希望する男子は小学生の34.2%、中学生の29.2%と約3割であったこと、また実際のローレル指数から「やせ気味」の小学生は34.5%、中学生は45%であったことから、男子においても「やせ志向」の低年齢化がみられたことを指摘している。

やせ志向が男性にも存在していることは、前述のBMIと自己評価との関連においても明らかである。「BMI一致」が女性では26.1%に過ぎなかったのに対し、男性では57.7%と約6割を占めてはいたが、男性においても「太り志向(15.4%)」よりも「やせ志向(26.9%)」の方が多かった。また、男女別にみた理想体型で「華奢に思われたい」女性は43.6%に対し男性は19.1%と少ないというものの、約2割は「華奢に思われたい」としている。これらのことから、理想とする体型が男女で近づいていることが推測される。

自己の体重を減少させたり、体型をスリム化しようとしたりするような「やせ志向」を瘦身願望とも言われているが、瘦身願望は体型を自己呈示の一つとして、体型に関して他者からより高い評価を受けたいといった欲求と関連していることが示唆されている<sup>2) 3)</sup>。池田<sup>11)</sup>は、女子学生では異性への意識がやせ志向に関連していること、即ち女性では体型に関して、「スリムな体型」が「美しさ」や「かわいらしさ」と結びついており、瘦身願望の強い人は、他者の眼を気にし、他者からの評価を気にする傾向があると考えられるという。

一方、前述の豊田<sup>8)</sup>の大学生における同性及び異性から好かれる特性に関する調査では、男女ともに異性から好かれる特性として重視されていたのは、「やさしい」「思

表5 理想体型別にみた自己理想の男女による相違

	筋肉質と思われたい						p 値
	当てはまらない		どちらでもない		当てはまる		
	M±SD	Med	M±SD	Med	M±SD	Med	
男性	(n=13)		(n=28)		(n=27)		
明るい	3.38±1.12	3.00	3.89±0.74	4.00	4.26±0.86	4.00	0.002
話がうまい	3.08±1.38	3.00	3.79±0.79	4.00	4.22±1.01	5.00	0.014
リーダーシップがとれる	2.46±1.05	3.00	3.25±1.08	3.00	3.85±0.99	4.00	0.002
男らしい	3.15±1.07	3.00	3.46±0.92	3.00	4.37±0.88	5.00	0.000
おしゃれ	2.62±1.33	2.00	3.50±1.04	3.50	4.07±1.21	5.00	0.002
スポーツができる	3.38±1.26	3.00	3.71±0.81	3.50	4.22±1.05	5.00	0.027
容姿がよい	2.85±1.52	3.00	3.43±0.92	3.00	4.04±0.90	4.00	0.008
積極的である	2.62±1.45	3.00	3.29±0.85	3.00	4.00±0.88	4.00	0.001
お金持ち	2.15±0.99	2.00	2.96±0.84	3.00	3.15±1.26	3.00	0.029
女性	(n=74)		(n=33)		(n=9)		
お金持ち	2.50±1.10	3.00	2.97±0.59	3.00	3.56±1.24	3.00	0.008
	華奢と思われたい						
男性	(n=22)		(n=33)		(n=13)		
容姿がよい	3.05 ± 1.25	3.00	3.76 ± 0.87	3.00	3.92 ± 1.26	4.00	0.047
お金持ち	2.32 ± 0.99	2.00	3.12 ± 0.93	3.00	3.23 ± 1.36	3.00	0.008
女性	(n=31)		(n=35)		(n=51)		
話しやすい	4.68 ± 0.60	5.00	4.31 ± 0.83	5.00	4.73 ± 0.60	5.00	0.016
おもしろい	4.06 ± 1.06	4.00	3.57 ± 0.95	3.00	4.20 ± 0.85	4.00	0.009
つきあいやすい	4.00 ± 1.03	4.00	3.74 ± 0.82	4.00	4.24 ± 0.89	4.00	0.030
気さくである	4.35 ± 0.75	5.00	3.91 ± 0.82	4.00	4.39 ± 0.72	5.00	0.016
明るい	4.35 ± 0.80	5.00	4.09 ± 0.82	4.00	4.51 ± 0.70	5.00	0.040
おしゃれ	3.52 ± 1.00	3.00	3.74 ± 0.98	4.00	4.12 ± 0.84	4.00	0.019
頭がよい	3.23 ± 1.09	3.00	3.34 ± 1.03	3.00	3.88 ± 1.01	4.00	0.007
容姿がよい	3.45 ± 1.09	3.00	3.43 ± 0.81	3.00	4.16 ± 0.86	4.00	0.000
積極的である	3.48 ± 1.00	3.00	3.23 ± 0.69	3.00	3.76 ± 0.99	4.00	0.035
お金持ち	2.23 ± 0.96	2.00	2.71 ± 0.79	3.00	3.06 ± 1.16	3.00	0.003

注)Kruskal Wallis 検定による

いやりがある」「信頼できる」及び「友達を大切にする」、同性から好かれる特性で男女共通に重視されていたのは、「話しやすい」「友達を大切にする」「信頼できる」「性格に裏表がない」「思いやりがある」「気さくである」「明るい」「おもしろい」及び「つきあいがよい」であったという。

本研究においては検討方法が若干異なるため単純に比較することはできないが、同性、異性のいずれにおいても男女共通に重要視されていた項目は「信頼できる」「友達を大切にする」「話しやすい」「思いやりがある」であり、これらは自己理想でも重要視されており、外見よりも内面を魅力として重視していることがわかる。その他、同性で男女共通に重要視されていたのは「おもしろい」、異性では「やさしい」であり、ほぼ豊田<sup>8)</sup>と類似の結果といえよう。一方、男性では自己や同性に対してよりも異性に対して「清潔」や「おしゃれ」「容姿がよい」ことを魅力としており、「おしゃれ」は女性が男性に対して以上に重視していた。女性でも同性に対して「清潔」や「おしゃれ」は男性が同性に求める以上に重視していることから、女性においてより重視されている項目と考えられる。女性では、男性の魅力として「リーダーシップがとれる」「男らしい」「スポーツができる」「頭がよい」「お金持ち」を重

視していた。男性では、自己の理想として「スポーツができる」を女性よりも重視していた。これらは異性が魅力としている点を自身に求めていると考えられ、他者の目を意識していると考えられるのではないだろうか。

また、「筋肉質と思われたい」男性では、男性の魅力として重視されている項目の他に「容姿がよい」「おしゃれ」などの外見も上がってきており、このことは「華奢と思われたい」女性でも同様であったことから、外見を気にする者が「筋肉質」あるいは「華奢」であると思われたい傾向があるといえる。しかし、やせ志向である者は、理想の体型を「華奢と思われたい」とする者が多かったにも関わらず、容姿や外見に関する事柄が特に重要視されているわけではなかった。

以上、やせ志向は女性の方が多いとはいえ、男性にも存在していること、また、自己の理想と他者に感じる魅力では「信頼できる」など外見ではない項目が共通に魅力としてあげられていたが、女性の「おしゃれ」や男性の「スポーツができる」など項目によっては自己の理想が他者に影響されていると考えられること、理想体型に「筋肉質」や「華奢」であることを望むの方が外見を気にしている傾向にあることが示唆された。

## 謝辞

本研究にあたり、快くご協力くださいました学生の皆様に心より感謝いたします。

## 文献

- 1) 厚生労働省(2003)平成14年度国民栄養調査
- 2) 厚生労働省(2008)平成19年度国民健康・栄養調査
- 3) 小澤夏紀, 富塚直明, 宮野秀市, 他(2005)女性誌への暴露が食行動異常に及ぼす影響. 心身医, 45(7):521-529.
- 4) 馬場安希, 菅原健介(2000)女子青年における瘦身願望についての研究. 教育心理学研究, 48(3):267-274.
- 5) 前川浩子(2005)青年期女子の体重・体型へのこだわりに影響を及ぼす要因—親の養育行動と社会的要因からの検討. パーソナリティ研究, 13(2):129-142.
- 6) 金本めぐみ, 横沢民男, 金本益男(1999)身体に対する相互認知に関する研究. 上智大学体育, 32:1-10.
- 7) 豊田弘司(2000)大学生における好かれる男性及び女性の特性. 奈良教育大学教育研究所紀要, 36:73-76.
- 8) 豊田弘司(2004)大学生における好かれる男性及び女性の特性. 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要, 13:1-6.
- 9) 根本橋夫, 名古屋令果(2000)男性の体型についての女子大学生の意識. 東京家政学院大学紀要, 40:9-16.
- 10) 池田かよ子(2007)思春期男子のやせ志向と自尊感情および体型との関連. 新潟青陵大学紀要, 7:63-71.
- 11) 池田かよこ(2006)思春期女子のやせ志向と自尊感情との関連. 思春期学, 24(3):473-482.